

## 平成30年度事業計画(音楽)

自 平成30年4月1日

至 平成31年3月31日

### 公益目的事業3(顕彰事業)

#### 1. 「第49回サントリー音楽賞」「第17回佐治敬三賞」(2017年度)の贈賞

2月22日(木)(音楽賞)・2月26日(月)(佐治敬三賞)選考会で選定、

3月30日(金)理事会にて決定後、日程調整し、贈賞式を開催する。

#### 2. 「第50回サントリー音楽賞」の選定、贈賞

ア. 対象 平成30年1月1日から12月31日までの1年間に、わが国の洋楽の発展に最も  
顕著な功績のあった日本人

イ. 賞 賞状、賞金(700万円)

ウ. 選考 平成31年1月上旬 候補者選考会

平成31年3月中旬 受賞者選考会

エ. 贈賞 受賞者決定後に調整のうえ贈賞式を(平成31年度に)開催

#### 3. 「第18回佐治敬三賞」の選定、贈賞

ア. 対象 平成30年1月1日から12月31日までの1年間に行われる音楽公演で  
チャレンジ精神に満ちた企画でありかつ演奏成果の優れたもの

イ. 賞 賞状、賞金(200万円)

ウ. 公募 平成30年上期実施公演:平成29年10~11月に応募を受付済み

同 下期実施公演:平成30年4~5月に応募受付

エ. 選考 応募公演について公演視察を実施

平成31年2月 選考会

オ. 贈賞 スケジュール調整のうえ音楽賞と同時に開催

#### 4. 第28回「芥川作曲賞」の選考、決定、贈賞

2017年に初演された新進作曲家の管弦楽作品の中で最も清新かつ豊かな将来性を内包する  
作品を選定する。最終選考は公開の場で行う。

ア. 第1次選考会

平成30年3月5日(月)に開催し、第28回芥川作曲賞の選考対象となる日本人作曲家の  
交響管弦楽曲(平成29年1月から12月の間に国内外で初演)候補作品について譜面およ  
び録音による選考を行い、候補作品数曲を選出する。

イ. 第28回「芥川作曲賞」選考演奏会

8月26日(日) 15:00～、サントリーホール大ホール

サマーフェスティバルの一環として開催。第26回受賞記念委嘱の渡辺裕紀子氏作品を初演したのち、候補作品を演奏し、演奏終了後、3人の選考委員が公開による選考を行って1曲を選定し、第28回「芥川作曲賞」(50万円)を贈賞する。選考会司会は伊東信宏氏。なお、受賞作曲家には新作を委嘱(委嘱料100万円)し、完成後、当財団主催の演奏会で初演する。

公益目的事業4(助成事業)

1. 推薦コンサート活動

毎月1回、東西で選考会を開き、日本人作曲作品をとりあげたコンサートを推薦。推薦されたコンサートは、ホームページ、新聞などで告知し、抽選で読者を招待する。年間約24公演、計1,000名の音楽ファンに日本人作品との出会いを提供。  
選定＝推薦コンサート選定委員会

2. 「第5回サントリー芸術財団名器特別賞」として楽器を貸与

世界的文化遺産である弦楽器名器を保全し次世代に継承するとともに、若手音楽家の育成、クラシック音楽の発展に貢献することを目的に、第5回「サントリー芸術財団名器特別賞」受賞者を選定する。

「第72回全日本学生音楽コンクール全国大会 バイオリン部門中学校の部・高校の部」(主催:毎日新聞社)において選定委員が受賞者および推奨楽器を決定し、財団所有バイオリンを無償で3年間貸与する。

全日本学生音楽コンクール バイオリン部門 中学校の部 12月2日(日)

同 高校の部 12月3日(月)

会場:横浜みなとみらいホール

3. 演奏家向け楽器貸与

第2号議案で決定された貸与者への楽器貸与を開始。貸与期間は5年間。

ア. 貸与楽器および貸与者

①ANTONIO STRADIVARI (1727年製作 バイオリン) - 米元 響子 (33歳)

②PIETRO GIACOMO ROGERI (1710年製作 チェロ) - 岡本 侑也 (23歳)

③PAOLO ANTONIO TESTORE (1728年製作 ヴィオラ) - 田原 綾子 (23歳)

#### 4. その他の助成

##### ア. 活動助成

- |               |                 |
|---------------|-----------------|
| (1) 音楽文献目録委員会 | 音楽文献目録出版に対して    |
| (2) 日本作曲家協議会  | 日本人作曲家の楽譜出版に対して |

##### イ. 運営助成

- (1) 日本作曲家協議会
- (2) 日本現代音楽協会
- (3) 日本演奏連盟

以 上